

平成30年度「おかやまを学ぶ」講義概要・日程について

【授業概略と目的】

○授業概要

岡山県の経済、産業、文化、歴史、教育、行政等について、専門家からのさまざまな視点での学びを通して、地域の魅力や課題を知り、地域志向への意義を高めるための学習を行うとともに、アクティブラーニング（学生によるグループワークやディスカッション）の導入により、次の目的達成を目指します。

○目的

- ・地域「おかやま」を理解し、地域の魅力や課題を発見する。
- ・アクティブラーニングを通じて、主体的に物事を捉え、発信する。特に連携4市との授業では、市職員と学生が積極的なディスカッションを通して認識を深める。

【履修に必要な知識・能力・キーワード】

○履修に必要な知識・能力：

自分が住んでいる地域・岡山県のさまざまな領域に関して興味・関心を持つ力、聞く姿勢、学ぶ姿勢、問題解決姿勢、探究心が求められます。

○キーワード：地域創生、地域活性、アクティブラーニング、主体性

	月 日	講 師	題目・テーマ	概要（案）
1	9月26日	本学教員 地域共同研究機構 榮 久美子	オリエンテーション	講義の概要と目的、評価方法など、授業に関するオリエンテーションを行います。
		備前市備前焼ミュージアム 館長 臼井 洋輔氏	【文化】 岡山の歴史と文化から見る「特質」と今	おかやまは時代の境目（矛盾が高まる）が来ると、必ず日本を大きく変えるキーマンが出てきて、世の中を確実に大きく変えることとなります。それが現代の岡山県の姿にどのように反映されているのか、いないのかなどを学んでいきます。
2	10月3日	一般財団法人 岡山経済研究所 主任研究員 北村 哲彦氏	【経済】 経済指標で見る岡山県	県内経済の構造や変化を、人口、GDP、事業者数や企業数などから概観するとともに、各種経済指標により、岡山県の全国での規模を確認し、岡山の経済の基礎的な知識を身につけていきます。
3	10月10日	日本貿易振興機構（ジェトロ） 係長 堀田 基氏	【海外事業】 岡山県企業の海外事業展開	企業のグローバル化が叫ばれている中、岡山県でも多くの企業が海外へ進出、輸出を果たしています。その現状を理解し、岡山県と海外とのつながりについて企業の海外展開事例等を踏まえ、学びます。
4	10月17日	株式会社山陽新聞社 編集局 編集委員室長 岡山 一郎氏	【メディア】 新聞記者から見た岡山県	山陽新聞特集「Lの時代 歪みを超えて」80回連載を踏まえて、新聞記者の眼から見た、元氣なローカルの取り組みと今後の展望を学びます。
5	10月24日	山陽放送株式会社 代表取締役会長 原 憲一氏	【人権】 見捨てられた人々	日本でのハンセン病の歴史、近代日本におけるハンセン病撲滅運動、国民的運動無らい県運動の過ち、人権問題としてのハンセン病問題等、語り継ぐべきことを知り、私たちに何が出来るかを考えます。
6	10月31日	公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校 顕彰保存会 理事長 國友 道一氏	【歴史・教育】 学びの原郷 閑谷学校	閑谷学校は2020年に創学350年を迎えます。日本最古の庶民のための公立学校として創建され現在も教育の場でありつづけている閑谷学校、その歴史と教育について学び、現代社会における教育の意義について考えます。
7	11月14日	総社市、笠岡市、真庭市、備前市	【行政】 魅力や特色、地域課題から提案へ	本学と包括協定を結び、連携している4市（総社市、笠岡市、真庭市、備前市）の観光などのセールスポイントとセールス方法を紹介し、市職員と学生によるパネルディスカッション方式で講義を進めていきます。
8	11月21日	本学教員 地域共同研究機構 榮 久美子	【まとめ・総括】	これまでの講義を通して学んだ魅力や課題から何を学び取り、どのように繋げることが出来るか、また主体的に自らが今後どのように生かしていけるかを振り返りを通し、発信していきます。

曜日・時間 水曜 3時限 （12：40～14：10）

受 付 講堂入口

講義場所 講 堂

担当教員 ○榮 久美子（地域共同研究機構）、高戸 仁郎、岩満 賢治、榎原 勝己、佐藤 洋一郎、末岡 浩治

評価方法 毎回の感想レポートの内容、講義への取組状況、統括レポートの総合評価